

同じ構造となっている。国鉄所属の車と郵政省所属の車があり、いずれも郵政省従業員が乗務するいわば移動郵便局ともいべきものと、単に郵便物を積載して輸送する締切扱いのものがある。前者の構造は郵便物の区分、押印などを行う区分室と、郵便物、小包などの郵袋を積載する郵袋室に分れている。

区分室には郵便業務を行うに都合のよいように郵便区分だな、郵袋掛、開袋台、押印台などの設備があり、室の片すみには従事員の休けい室が設けられている。また郵便車には乗客その他の人の便を考え、郵便差入口を設け随時投かんできるようにになっている。区分だなは郵便物を輸送地区別に整理するため細かく区分されているたので、その用途にしたがって小郵袋区分だ

な、特殊区分だな、普通通常区分だな、普通速達区分だな、八東区分だななどがある。郵袋掛は郵便物を主要輸送地区別に分けて入れる郵袋を掛けるもので、室内の一部にはりを2本出し、この間にパイプを渡して、これに郵便物を入れやすいよう、郵袋の口を開いたまま掛けておくことができるよう受金が取付けられているもので、一般に8個の郵袋を掛けることができる。(林正道)

ゆうびんしゃかしきりうんちん 郵便車貸切運賃 郵便物を運送するため郵便車を貸切って運送する場合の運賃をいい、つぎに掲げる郵便車貸切賃率に、郵便車走行キロを乗じて契約区間の片道分の運賃を算出し1箇月分を取りまとめて計算集計

車



2. 郵便車区分室

